

科目区分	専門分野	履修学年	2年後期	単位数	2	時間数	45
科目名	在宅看護技術			担当教員	専任教員		
使用テキスト	1) メディカ出版 在宅看護論 ①地域療養を支えるケア 2) メディカ出版 在宅看護論 ②在宅療養を支える技術						
テキスト以外の教材・参考書等	1) 医学書院 専門分野 基礎 地域・在宅看護論 地域・在宅看護の基盤 2) 医学書院 専門分野 基礎 地域・在宅看護論 地域・在宅看護の実際 3) メディックメディア 写真でわかる訪問看護アドバンス						
授業の概要及び到達目標							
<p><u>授業の概要</u></p> <p>在宅療養での看護技術に必要な工夫を考え、対象にとってより良い暮らしに関心をもてるようにする。老年看護学の際に見学した、福祉用具の実際、1年次の学習した基礎看護技術の学びも参考に在宅での援助技術が考えられるようにする。</p> <p><u>到達目標</u></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療機関の物品から在宅療養に必要な物品を考え、作成又は準備できる。</li> <li>2. 在宅酸素療法の実際について理解できる。</li> <li>3. 代用した物品を使用しながら、在宅療養の生活ケアの援助技術の習得ができる。</li> <li>4. 訪問看護師として必要な接遇技術が習得できる。</li> </ol>							
評価方法	演習評価						
備考	関連科目：基礎看護技術, 地域・在宅看護概論, 地域・在宅看護方法 I , 老年看護方法 I						

回数	授業計画 学習内容	備考
1	在宅に必要な看護技術の考え方 身近な物品の代用や工夫	講義 グループワーク
2	(食事、排泄、清潔に使用する物品、家庭にあるものをどのように代用できるか考える)	
3	在宅酸素療法の実際 (HOT)	星医療酸器
4	訪問に向けた接遇	演習
5		
6		
7		
8	在宅療養の生活ケアの援助	演習
9	食事 (PEG、中心静脈栄養含む)	
10		
11		
12	在宅療養の生活ケアの援助	講義・演習
13	排泄	
14		
15		
16	在宅療養の生活ケアの援助	講義・演習
17	清潔 ・洗髪 (ケリーパッドの作り方、家庭での洗髪)	
18	・背部浴	
19	・全身清拭、更衣の介助 ・入浴介助 (訪問入浴)	
20	在宅療養の生活ケアの援助	
21	移動・移乗	
22	・座位から立位、歩行、床からの起き上がり、持ち上げない介助)	
23	・自立支援、ベッド上でできる運動 ・ベッド上での体の動かし方 ・身近な道具を使った移動方法	